

25学級以上の大規模学校は、わずかに全国平均を上回っている。

(イ) 中学校では、単級、3学級の過小規模学校は少ないが、6、9学級などの小規模学校が多い。

本県の学校規模は、適正規模学校が少なく、小規模学校、過小規模学校が著しく多いこと等が問題点として指摘される。

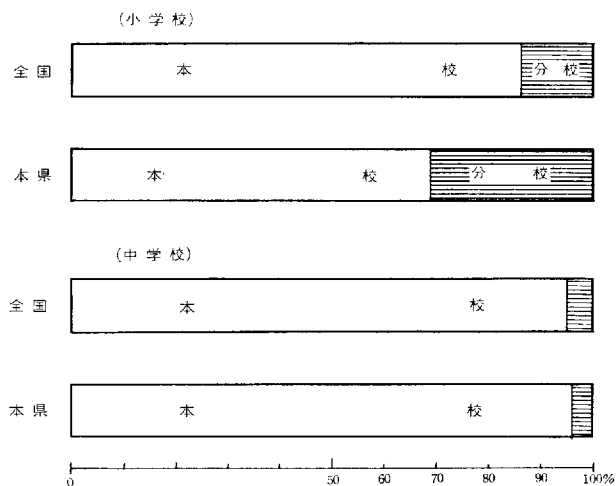
また、第4図は、本校と分校の構成比を示したものであるが、小学校においては31.0%で、全国平均の13.6%と比較して著しくその数が多い。中学校では全国平均よりやや少ない。

ここで、学校規模と教育費との関係について考察してみよう。

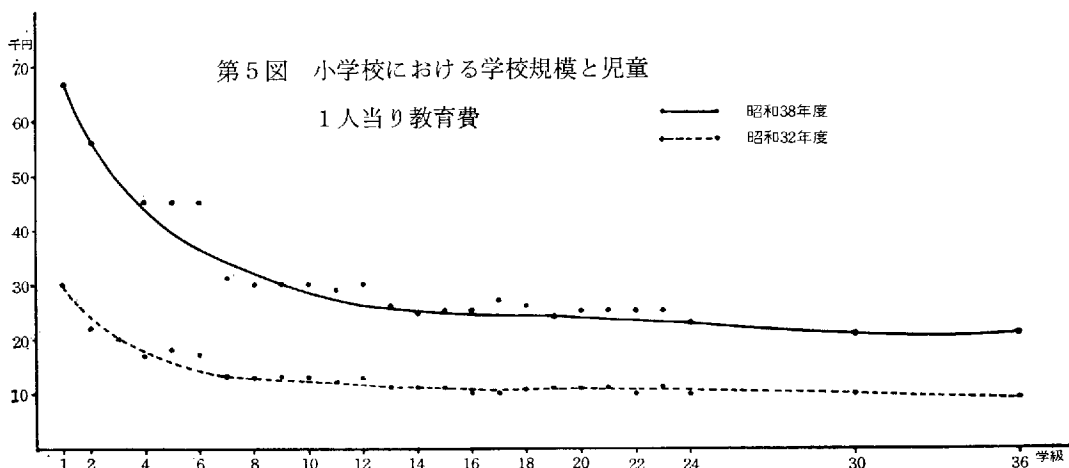
文部省でまとめた昭和38会計年度における「地方教育費の調査報告書」によると、学校規模別にみた生徒1人当り教育費について第5図、第6図のとおり示している。

すなわち、生徒1人当り教育費と学校規模との関係を見ると、小、中学校とも学校単位生徒1人当り教育費は、「1学級」の学校規模において最も高い額を示し、学校規模が大きくなるにつれて、その額は漸減するという傾向を示している。さらにまた同書では、学級当りの教育費につ

第4図 本校と分校の構成比率



(昭和39学校基本調査)



(昭38 地方教育費の調査報告書)